



2014年6月11日

## スバル 2014年ニュルブルクリンク 24時間耐久レースに出場

富士重工業と同社のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル株式会社\*1は、新型WRX STIをベースとして開発したレースカー「SUBARU WRX STI NBRチャレンジ2014」で、ドイツで6月19日～22日に開催予定の2014年ニュルブルクリンク24時間耐久レースに参加します。2008年から7年連続の出場となる今回のレースでは、2012年に続く3度目のクラス優勝を目指します。

現地時間6月20日(金)16:00(日本時間 23:00)からニュルブルクリンク・サーキット内ラウンジスペースにて行う予定のスバルプレスカンファレンスやレースの様態については、特設サイト及び「SUBARU-USTREAM」\*2にて配信予定です。

<特設サイト>

スバルオフィシャルサイト : <http://www.subaru.jp/nbr24h2014/>

スバルグローバルサイト : <http://www.subaru-global.com/special/nbr/>

<SUBARU-USTREAM>

<http://www.ustream.tv/channel/subaru-ustream>

\*1:スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:平川良夫、東京都三鷹市、略称:STI)

\*2:Ustream は、Ustream Asia 株式会社が運営するライブ動画配信サイトです。

### ■ 「SUBARU WRX STI NBRチャレンジ2014」

スバルWRXシリーズは、1992年の初代モデル誕生以来、実用的な4ドアセダンでありながら、圧倒的なスポーツ性能を兼ね備えた個性的なスポーツセダンとして、世界中のスポーツカーファンから支持を得てきました。

「SUBARU WRX STI NBRチャレンジ2014」には耐久レース用装備およびチューニングが施されていますが、その基幹部品はベース車である量産型WRX STIと全く同じです。富士重工業とSTIはその連携を一層強化することで、世界初公開から間もない新型WRX STIをベースとしたレースカー開発を実現しました。

あえて量産車をベースとして開発したレースカーで参戦することで、新型WRX STIのAWDスポーツパフォーマンスが「究極の一般公道」とも言われるニュルブルクリンク・サーキットにおいても高次元で発揮されることを実証していきます。

富士重工業とSTIは、モータースポーツ活動を通し、スバルがお客様に提供する価値である「安心と楽しさ」を確かなモノづくりで実現し、世界中のお客様のご期待に応えていきます。



SUBARU WRX STI NBR チャレンジ 2014

## ■ USTREAM 配信概要

配信内容 : 車載オンボードカメラ映像の生中継に加え、現地公式映像やドライバー・ディーラーメカニックへのインタビュー等を配信予定

出演者 : (実況・現地レポート) ピエール北川

配信時間 : 予選2

日本時間 6/20(金)17:00~20:00

プレスカンファレンス 日本時間 6/20(金)23:00~6/21(土)0:00

決勝

日本時間 6/21(土)22:00~6/23(月)0:00

※決勝レース前後1時間を加えた計26時間。

※配信時間は変更になる可能性があります。

配信アドレス : <http://www.subaru.jp/nbr24h2014/>

## ■ チーム概要

- チーム名 : 2014 STI NBRチャレンジチーム
- 車両仕様 (SP3Tクラス、2リットル以下のターボ車)

車名	SUBARU WRX STI NBR チャレンジ 2014
ボディサイズ (全長×全幅×全高)	4,890 x 1,835* x 1,395 mm
ホイールベース	2,650 mm
エンジン	EJ20 型 水平対向 4 気筒 DOHC ターボエンジン
排気量	1,994cc
最高出力	250kW (340PS)/5,500rpm
最大トルク	461N・m (47kgf・m)/3,000rpm
駆動方式	DCCD(ドライバーズコントロールセンターデフ)方式 AWD
トランスミッション	6 速シーケンシャルギヤボックス
クラッチ	STI メタルクラッチ
サスペンション	フロント:ストラット / リヤ:ダブルウィッシュボーン
ブレーキキャリパー	フロント:brembo 製 対向 6 ポット / リヤ:brembo 製 対向 4 ポット
タイヤ	ダンロップ製 260/66 R18
ホイール	BBS 製 18 インチ x 10J

\*: リヤオーバーフェンダー

- 総監督 : 辰己英治
- 監督 : 小澤正弘
- ドライバー : 吉田寿博、佐々木孝太、マルセル・ラッセー(ドイツ)、カルロ・ヴァンダム(オランダ)